



## 『ひとりになれる ひとつになれる』そして「情けは人のためならず」(7月6日の全校集会より)

4月から約2ヶ月間の臨時休業になってしまったので、全校のみなさんに校長先生がお話をするのは、今日が初めてになります。今日は新型コロナウイルスの感染予防ということと、みなさん一人一人の顔を見てお話をしたいと思い、校庭で全校集会を行いたかったのですが、生憎、雨になってしまったので放送でお話をします。今日は二つのこととお話したいと思います。

一つ目は、2年生以上の人には昨年度の4月にお話をし、児童玄関と職員室の廊下に掲示してある『ひとりになれる ひとつになれる』ということです。1年生のみなさんにはまだお話をしていなかったのですが、話したいと思いますが、2年生以上の方は確認の意味で聞いてほしいと思います。この『ひとりになれる ひとつになれる』ということを実践して昨年度から南小みんなのスローガンとしました。「ひとりになれる」とは、自分の力で考え、行動できる力をつけるということです。また、「ひとつになれる」は、友達や仲間の中でどの子も輝き、力を合わせ、心を一つにしてやり遂げる力をつけるという意味です。6月15日より通常登校になりましたが、すべての学習や活動を通して、自分をしっかり見つめて、友達や仲間と力を合わせて成長をしていってほしいと思っています。

もう一つは、「情けは人のためにならず」ということです。低学年の人にはちょっと難しいかも知れませんが、これは、日本のことわざで、意味は「人に親切にすれば、その相手のためになるだけでなく、いずれは巡り巡って自分にも返ってくるから、自分のためでもある。だから積極的に親切を心がけるべきである」ということです。

ここで、ちょっと心温まるお話を聞いてください。それは、先週の金曜日のことです。毎朝、児童玄関のところで検温と手の消毒をしていると思います。校長先生が「おはようございます」と一人一人に声をかけながら、その様子を見てみると、一人の男の子が栗本先生にランドセルを預けて、東門の方に戻っていききました。どうしたのかなと思って、栗本先生に話を聞くと、途中の田んぼのところにかさを忘れてきてしまったので、取りに戻ったとのことでした。慌てている様子が心配だったので、校長先生も後を追いかけてきました。すると、東門と信号機の間を半分ぐらい行ったところで、南から来た一人の男の子からその男の子はかさを受け取っていました。校長先生が近づいてみると、かさを渡していたのは、4年2組のすほくんでした。すほくんには話を聞いてみると、「途中の田んぼのところにかさが落ちていて、名前が書いてあったから拾ってきた」と言っていました。さりげなくそう言ったすほくと、何度も「ありがとう。ありがとう。」とお礼を言っていた男の子を見て、校長先生はとても心が温まる思いがしました。また、すほくんは「情けは人のためにならず」ということを実践している一人だと思いました。すほくんだけでなく、南小にはそういった子どもたちがたくさんいると思います。

現在、新型コロナウイルスが終息することなく、日本や世界中でまだまだ感染者が毎日でいる状況にあります。そんな中、お医者さんや看護師さんなどの医療従事者の方だけでなく、みなさんの生活を支えている人たちがいろいろところで頑張っています。みなさんも生活や行動が制限され、不便を感じていることだと思います。でも、そんなときだからこそ、みなさんも一人一人が自分の力で考え、行動できる力を付け、家族、クラスの友達、南小の仲間と力を合わせ、心を一つにしていくこと、そして、他の人のために何かできることはないかと考えていくことが大切なのではないでしょうか。

「ひとりになれる ひとつになれる」そして「情けは人のためにならず」みんなで頑張っていきましょう。



## いろいろな活動に取り組んでいきます！

今年度も、朝の時間を利用した体育集会やオアシス活動、音楽集会や児童集会を実施していきます。（音楽集会と児童集会は新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施していきます。）

### 《体育集会》

体育集会は、『・健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。・みんなで運動を親しみ、日常の運動遊びにつなげられるようにする。』ことをねらいとして年間25回実施（1回～5回は臨時休業のため中止）していきます。今年度最初の体育集会は、新型コロナウイルス感染症の予防ということから6月17日（2・4・6年）と7月1日（1・3・5年）の2つに分けて実施しました。初めての体育集会ということから、高学年の児童が前に出てお手本を見せながらラジオ体操を行いました。1学期はラジオ体操を中心にを行い、2学期からはサーキットトレーニングが始まります。これから1年間、ランニングやなわとびなど様々な運動を取り入れながら、子どもたちの体力向上と運動意欲の高揚に努めていきます。



### 《オアシス活動（縦割り活動）》

オアシス活動は、『異学年の友だちとの活動を通し、互いに認め合い支え合うことができる関係を築くとともに、集団の一員としての自覚を高める』ことをねらいとしています。今年度は特に重点として、①6年生に自己有用感を持たせ、リーダーとして育てる。（児童にがんばって良かった体験をさせます）②学校行事との関連を図った継続的な活動の実施。（その時々の行事とリンクさせていきます）③異学年交流でのオアシス班の活用。（その他の場面でも異学年交流を増やしていきます）としています。活動内容は、室内や校庭でできるレクリエーション、ボランティア活動、行事に向けての準備等があります。初回は、6年生が1年生を迎えに行き、班ごとに校庭に集まり、6年生による活動の説明を行った後、ジャンケンをして勝った児童から順番に自己紹介をしました。6年生の児童は、この日のために計画を立てたり、リハーサルをしたり頑張っていました。今後も6年生を中心として様々な活動が行われていきます。上級生が下級生を面倒見ながら、異学年で交流する活動は、思いやりの心やコミュニケーション能力の育成にもつながるものであり、南小の特色ある活動の一つです。



## 集団下校訓練を行いました

7月6日（月）の5校時終了後に集団下校訓練を行いました。毎年行っている訓練ではありますが、昨今の世の中の様々な事案を考慮すると大切な訓練の一つです。この訓練の目的は、災害時及び事故等の際、児童の身を守り、安全を確保することです。各学級で訓練に関わる説明や指導を受けた児童は、方面別に分かれて、職員室前と多目的ホールに順番に集まりました。その後、担当の先生方による名簿上での確認を終え、上級生が下級生を気遣いながら順次下校を開始しました。是非とも、同じコースの人たちは、日頃からお互いに顔や名前を覚え、共に協力できる関係を築いてほしいと思います。しかし、集団で歩いているから100%安全であるとは言えません。集団登下校時に、車の方から突っ込んでくる事故もニュース等で見聞きます。集団で歩くときも、ただついて行くのではなく、一人一人が周りを見ながら、確認しながら行動できることが必要です。避難訓練と同じように、大切な自分の命、相手の命を守ることを常に心がけてほしいと思います。

